



廃材や自然素材を活用した店内（通常は土・日のみ開店）
円内は地元の主婦グループ「ななかまど学習会」の皆さん

自然の中で心地よい時間を 上外川にカフェがオープン

森と風のがっこうの隣に「カフェ森風」が4月30日オープンし、上外川に新しい魅力が加わりました。

ゴールデンウィーク中は町内外から約500人が訪れ、オープニングイベントとして地元のななかまど学習会（下道アイ子代表）の会員が日替わりメニューで手作り料理を提供しました。

カフェは、環境教育などに取り組んでいる岩手子ども環境研究所（吉成信夫代表）が開設したもので、スタッフの永留百合さんは「上外川は初めてという町内の方々も多くて、とてもうれしいです。イベントなどを通じて、町内の方が気軽に立ち寄れるコミュニティの場にしていきたいですね」と話しています。

第4分団と第6分団が優勝 活みなぎる消防操法競技

町消防操法競技会は5月21日、時折吹く風の中、町総合運動公園駐車場で開かれました。自動車ポンプの部は8個分団、小型ポンプの部は10個分団が出場し、団員は日ごろの訓練の成果を存分に発揮しました。

審査の結果、自動車ポンプの部は第4分団が3年ぶりの優勝、小型ポンプの部は第6分団が4年連続で優勝し、喜びに沸いていました。

上位入賞の分団は次のとおりです。

《自動車ポンプの部》

①第4分団 ②第1分団 ③第17分団

《小型ポンプの部》

①第6分団 ②第14分団 ③第8分団



4年連続で優勝した第6分団の操法



講師の江幡平三郎アナウンサー（円内）
の楽しいトークに笑いが絶えない出席者

今日が新たな学びの第一歩 町民まなびい学園が始まる

平成17年度の生涯学習開講式は5月15日、総合センターで行われました。生涯学習推進本部長の中村町長は「生涯を通して自らを磨き、学習で資質を高めてほしい」とあいさつしました。

開講式では、町民まなびい学園で昨年度受講し、30単位以上を取得した12人に町長から修了証が贈られました。また、56種類の出前講座(昨年度の利用実績は22件、954人)や新規事業などが紹介され、出席者は学習意欲を高めました。

その後、IBC岩手放送アナウンサーの江幡平三郎さんが「テレビの裏側、カメラの向こう側」と題して講演しました。